

第62回 城陽市民文化祭を終えて

第62回城陽市民文化祭が、11月8日（土）から11月23日（日）の期間文化パルク城陽の各会場で開催しました。

11月8日のオープニングセレモニーでは、市長・教育長にご臨席賜り、文化祭開幕のテープカットを行いました。

川柳大会・市民アート展を皮切りに様々な催しが開催され、出演者・出展者・来場者で賑やかな雰囲気の中で各催しを終える事が出来ました。



長田信子さんに文化芸術賞 田所笑子さん、嶋本清さん、 菊池はぎのさんに文化芸術功績賞

市は文化芸術の振興に寄与し、功績を残された個人・団体に贈る令和7年度の城陽市文化芸術表彰者を決定し、去る11月27日に表彰式が市役所において行われました。

城陽市文化芸術協会関係では、文化芸術賞を筆演奏家の長田信子さんが、文化芸術功績賞を舞踊家（邦舞）の田所笑子さん、切手収

今年の市民文化祭は昨年度までとは違い、3階会議室で開催していた「城陽切手展」を市民アート展の会場（市民プラザ）で展示し多くの方に切手収集の楽しさを知って頂きました。

「市民音楽祭」では、初めてゲスト出演を迎え、パワフルな歌声が会場いっぱいになり盛り上がりしました。

「茶席といけ花」では、開催日が、1日となりましたが茶華道体験を実施し、お抹茶の点て方、お花のいけ方を体験して頂き茶華道連盟の活動を知って頂く機会になりました。

まだまだ課題もありますが、より多くの方に来ていただき文化祭を楽しんでいただけるよう新たな文化祭の形を作り上げる一歩となった事と思います。



クリエイター作品展

クリエイター 作品展

前日の夜から準備、当日に作品を搬入し、それぞれの作品が見やすいように配置しています。

開場するとお客様が入って来られ、会員の方々の緊張感がほぐれ、お客様が色とりどりの作品展示の中をゆっくりと歩かれ、じつと作品を鑑賞になられておられる方や展示の前に用意された椅子で展示を見ながら談笑されている方もおられ、和気あいあいとした雰囲気の中、2日間、作品展を通じて色んな交流をされておられ、今後の作品展の発展へと向かっているように感じました。

令和7年11月22日（土）、23日（日）の2日間、文化パルク城陽市民プラザにてクリエイター作品展が行われた。内容は手工芸連盟による押し花、ニット、刺繍、花アレンジ、書道作品。城陽市高齢者クラブ連合会による絵画、書、写真、手工芸作品。城陽市国際交流協会による城陽市の姉妹都市韓国慶山市、アメリカバンクーバー市の姉妹都市見



集家の嶋本清さん、舞踊家（洋舞）の菊池はぎのさんの3名が受賞されました。

長田信子さんは、長きにわたり筆曲の普及に尽力され、城陽市文化芸術功績賞をはじめ、多くの表彰を受けておられます。

田所笑子さんは、新舞踊鳳凰流の師範・名取として、鳳凰流道弘会「サークル紅」を主

川柳大会・ 囲碁大会の成績

（敬称略）

川柳大会

城陽市長賞 東晴己

「好きだった影ある君のほほ笑み」 河瀬多恵子

教育委員会教育長賞 「ふくらと幸せ太り

散歩道」 山崎満智子

文化芸術協会会長賞 「天高くモダンな案山子

明日香村」 西村直子

囲碁大会

城陽市長賞 近藤好広

教育委員会教育長賞 下岡啓三

文化芸術協会会長賞 森本政春

多谷紀友

当協会の会員が、 ギャラリー展2025」に入選

今年の「JOYOアートギャラリー展2025」に当協会の手工芸連盟の会員お二人の刺繍の作品「城陽のはす」、「白川郷」が入選しました。

「城陽のはす」の作者である生野暉子さんは、今池川近くを散歩しているときは畑の花の成長がありありと感じられ、これを作品にしたいとの思いから制作に取り組まれたものです。

また、「白川郷」は、奥鈴代さんの作品で、合掌造りのかやぶき屋根が白い雪をかぶっている真冬の白川郷を作品にされたものです。

なお、奥鈴代さんは、今年2月にご逝去されましたことをお伝えするとともに、ご冥福をお祈りいたします。

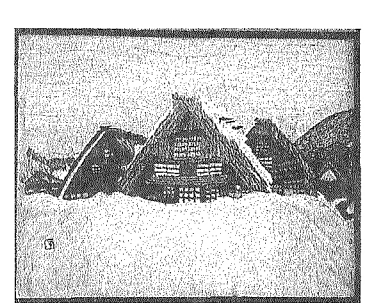
【土谷純一】

【中村康信】

「城陽のはす」



「白川郷」



芸能についての意見交換

オーストラリアビクトリア州メルボルンの「ビクトリアン・カレッジ・オブ・アート」に、面白くアイデア、音使い、音作りなどを建設的な評価をするもので、3年間学ぶ機会がありました。

音楽でも舞台芸術でもパフォーミングスの中には多くの要素が詰まっています。演目やアレンジの意図、音量や音質、音の選びや無音空間の作り方など、すべてが、流れる時間に沿って散りばめられて「演奏」が成り立って、観て聴いてもらえます。

多彩な要素の中で印象に残るもの、言い換えると「アイデア」が伝わるのは貴重な経験でした。

授業のひとつに「音楽演奏」があり、コース内の学生が振り分けられて臨時のバンドとして演奏し、先生や学生からの意見交換が行われます。



ビクトリアン・カレッジ・オブ・アート

産業まつりに参加して

11月3日、秋晴れの中、文化パルク城陽において、産業まつりが開催されました。地元の特産品や企業のコーナー、飲食コーナーなどたくさんのお店があり、どちらも大盛況でした。又、ラムホールや噴水の舞台では色々なイベントが開催され地域の方々が一日中楽しんでおられました。

私たちが城陽太鼓の会、鼓娘もラムホルの舞台に立たせていただき、



【城陽邦楽友の会 大久保雅由】

【宮野 啓子】

「ラム」を「暦」を見て

カレンダーをふと見ると、祝日や六曜（大安、仏滅など）の他に、二、十四節気がある。何の事かと疑問に思う方もいるかもしれない。立春や啓蟄、冬至などが当たる。四季が進んで行く過程で名付けられたものである。なんとなく意味のわかるものもある。例えば「大暑」「啓蟄」「夏至」「大暑」「冬至」は想像ができ、こんな季節になったと思う事ができる。

しかし、「雨水（うすい）」「穀雨（こくう）」「白露（はくろ）」と言えはいつだろうと、思う方も多いだろう。ちなみに「雨水」は2月18日ごろ、穀雨は4月20日ごろ、白露は9月7日ごろである。最近の地球温暖化やカレンダーに二十四節気が省略される場合もあり、四季の移り変わりが分かっていくにつれて、この頃、日本特有の四季の移り変わりを一度探してみたい。ちなみに、城陽市市民文化祭の頃には立冬と小雪の二つの節気がある。寒くなるので冬支度と紅葉狩りをしたいものだ。

【土谷 純一】